



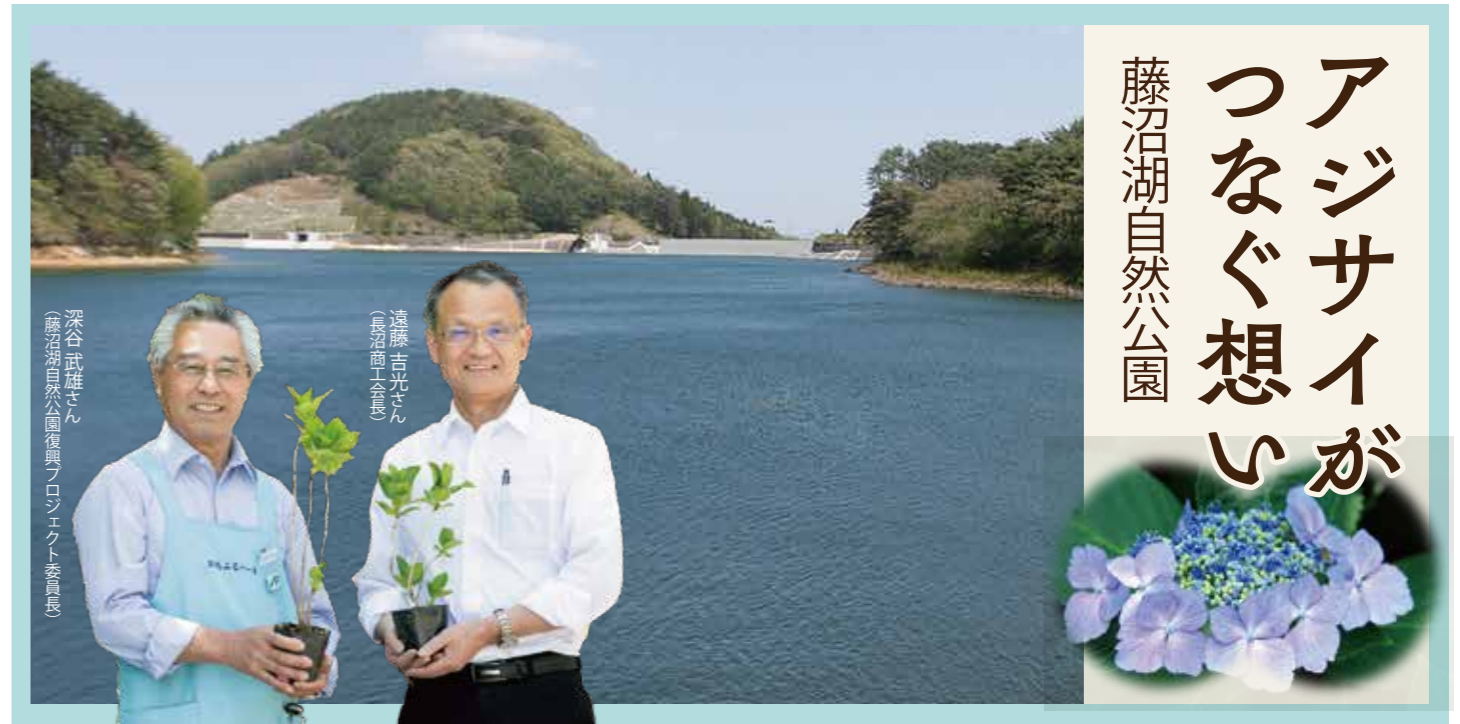
▲新しくオープンしたやまゆり荘併設の直売所



▲藤沼温泉やまゆり荘

藤沼湖周辺は緑地整備され、震災前は休日ともなるとたくさん親子連れなどが訪れ賑わいを見せていました。自然公園の復旧が進み、園内には芝生の広場やパークゴルフ場などが設けられ、以前の賑わいを取り戻しつつあります。源泉掛け流しでバランスのとれた泉質が評判の藤沼温泉やまゆり荘もリニューアル。四季折々の景観を眺める露天風呂も人気です。レストランでは手打ちの十割蕎麦がいただけます。

憩いの場としての再生



# アジサイがつなく想い

藤沼湖自然公園

（深谷 武雄さん  
藤沼湖自然公園復興プロジェクト委員長）

（遠藤 吉光さん  
長沼商工会長）



▲農業用水の供給が再開

湖底に眠っていた  
ヤマアジサイ

水をたたえた湖面は蒼く輝き、吹き渡る風が爽やかで、新緑の季節の到来を告げていました。須賀川市長沼地区の農業用ダム・藤沼湖。四月二十四日に東日本大震災の被害から復旧し、農業用水の供給を開始しました。震災では決壊し、尊い命が犠牲になるなど、大きな傷跡を残しましたが、東日本大震災という未曾有の災害の中では報じられることが少なく、福島県内でも決壊の事実を知らない方も多いと聞きます。家屋が壊れ住めなくなった方、犠牲者のご遺族、農業に携わる方など、地域に住む様々な人の思いが交錯する中、震災の翌年、長沼商工会は「何かしなければ」という思いから藤沼湖自然公園復興プロジェクト委員会を発足。「水の無い湖底を歩いてみよう」と「藤沼



**パープルクロワッサン**  
紫いものクリームをクロワッサンにサンド。冷やして食べると美味しさ倍増。長沼町ショッピングパークアスク内のパン店「ここっと」で販売。



**あじさいロール**  
添加物不使用。ふんわりと口どけの良いクリームは甘さ控えめ。あっさりしているので食べ過ぎに注意。あじさいロールは前日までに電話予約が必要。  
手作りパン屋さん ここっと  
TEL.0248-67-3491



**紫いものお餅**  
直売所で人気の「梅ちゃん」手作り商品のひとつ。鮮やかな紫色は食欲をそそります。  
藤沼温泉やまゆり荘  
TEL.0248-67-3431



**紫いものタルト**  
サクッとしたタルトに、ほんのりお芋の甘さが感じられる生地を入れて焼き上げたひと品。太田屋菓子店で製造・販売。  
太田屋菓子店  
TEL.0248-68-2619

**地域おこしへ**  
奇跡のアジサイをヒントに、長沼町内ではお菓子やパンなどの商品開発も進められています。アジサイの紫色を表現するためムラサキイモを使用。甘さ控えめで口どけの良いクリームを使ったロールケーキ「あじさいロール」やタルトほか、紫いものお餅などの加工品も登場。地域の魅力を食で発信しています。



▲里親さんから寄せられた写真

湖の湖底を歩く会」を開催しました。歩く会の下見の時、湖底にヤマアジサイの群生を発見。水質の良さ、水深十五メートルで光が湖底に届いていたこと、水温がほぼ一定であったことなどから、水中で休眠状態にあったと推測されています。昭和二十四年のダム完成から六十年眠っていた、まさに奇跡のアジサイでした。

思いが形に  
藤沼温泉やまゆり荘併設の直売所の横には奇跡のアジサイの苗が置かれ、無料で配布されています。「花が咲きました」と全国の里親さんから写真が寄せられます」と復興プロジェクト委員長の深谷武雄さんは目を細めます。震災から六年。藤沼湖完成時には一堂に会してアジサイを植栽しようこと大切にあなたためてきた思いが、六月二十五日、藤沼湖記念植樹祭で形になります。当日は約千人の参加者を見込んでおり、植栽式ほか各種イベント、出店なども予定。今後は定期的にアジサイ祭りを開催することも視野に入れています。甚大な被害を受け、多くの苦労や心の傷を抱えながらも、前に向かって歩んでいる長沼地区。長沼商工会の遠藤吉光会長は「たくさんの方と繋がっていくことで、力をもらえらることを知りました」と話します。奇跡のアジサイはもうすぐ花の見頃を迎えます。震災というあの日を忘れず、次世代に歴史を語り継ぐために、また、ふくしまという地域の魅力を発見しに、藤沼湖に出かけてみませんか。



▲湖底で発見されたアジサイ(平成25年4月)



▲藤沼湖の湖底を歩く会活動風景(平成28年10月)

## 奇跡のあじさい植樹祭 6月25日(日)

受付開始:午前8時より  
場所:藤沼湖自然公園(雨天決行)  
参加料:1,000円(未就学児無料)  
あじさいの株を藤沼湖周辺に一斉に植樹します。

主催・問い合わせ 長沼商工会・藤沼湖自然公園復興プロジェクト委員会 TEL0248-67-3121

※ご注意  
当日、藤沼湖自然公園駐車場は利用できません。  
長沼総合運動公園臨時駐車場から無料シャトルバスが運行します。長沼総合運動公園発藤沼湖行きは8:00から、藤沼湖会場発長沼総合運動公園行きは13:00から、15分おきに順次循環いたします。

●臨時駐車場(長沼総合運動公園)  
至郡山方面  
至須賀川  
R118  
至勢至堂・会津方面  
●歴史民俗資料館  
長沼総合運動公園  
臨時駐車場(無料シャトルバス乗り場)



▲水の無い藤沼湖



▲湖底に咲くアジサイ

アジサイが人をつなぐ  
発見された群生は三百株ほどあり、そのうち二百株ほどを畑に移植。復興のシンボルになればと大切に育てられたアジサイは現在、里親の手に引き継がれ、地域はじめ全国で花を咲かせています。アジサイの里親の一人、森清道さんは藤沼湖の決壊で家屋が全壊となった藤沼湖の被災者の一人。里親を引き受けたのは「みんなの思いの架け橋になれば」との考えからでした。里親は今年四月時点で県内に約一〇〇〇人、県外約三百人にまで増加しています。